
血の海の中で.....

叢 剣

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

血の海の中で……

【Nコード】

N4964A

【作者名】

叢 剣

【あらすじ】

突然、路地裏に訪れた紅い惨劇は、路地裏を血に濡らす

（前書き）

グロい描写が沢山ありますので、嫌いな方は読むのをご遠慮下さい、
万一気分が悪くなられても何もいたしませんので悪しからず。

辺りは一面紅いペンキをぶちまけたように、真っ赤に染まり、血の海を形成している。

海なので島も存在している、何かに吹き飛ばされた身体の一部である、粘っこい黄色い液体も所々に点在している、この惨劇を作り出した人物は血の海で返り血と弾末魔の叫びを思いだし、快楽に浸っているのか、長い黒髪が血に濡れ、渴き褐色に染まっても全く気にしていない、目の焦点は極度の快楽により、合っていないかった。

「あああああ！」

快楽が頂上まで達したのか、突然ぐったりとして動きを止めた。

「あはは……アハハ、アハハハハは！」

多少時間を戻り、この惨劇を見てみることにする。

突然の事であった、裏路地をたまりに煙草をふかしていた不良の前に、明らかに場違いな少女が歩いてきた。

「ん？ここはガキの来る所じゃねえんだ！失せる！」

全員が目を離れた瞬間に、その小さな手には似合わない無骨な刀が一振り握られていた、長さはゆうに通常の刀の長さ二尺五寸を越えており、刀身はなぜか紅く光っている。

通常であれば、長さに鞘から抜ける筈がないのだが、なぜか刀はすでに鞘から抜き放たれ、男の首を切断し、追いつきをかけるように切断した頭部に刀を突き刺した、刺し口からは、脳漿が吹き出している。

「……！」

ついに、男達が喋る事はなかった、全員が瞬く間に頭部切断によって殺されたからである。

物を言わない骸の胸を切り裂き、顔面に鮮血を浴びて、完全なトリップ状態に陥り、切り裂いた肉を口に持っていき、刀を放り出し

て貪り始めた、すでに口の回りと服は血により紅く染まっている。

辺りに血が撒き散らされ、壁が紅々と染められている。

「き、キミ！何をやってるんだ！」

警官の声に動きを止めて、振り向いた少女は血に濡れていながらも、幻想のように美しく、警官は見とれてしまっていた。

その間で、警官は頭から股下まで一刀両断され、傷口からはドロツとした液体とともに、臓物が撒き散らされた。

「キャハハハハ！」

少女は更に快感をえたのか、先程警官が撒き散らしたばかりの臓物を地面に這いつくばり貪っている。

ふと上を見上げると、路地裏の限られた空には血に濡れたように紅い月が上空に輝いていた。

(後書き)

どうでしたか？最後まで読んでくれた方は是非とも感想、またはメッセージをお願いします！

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4964a/>

血の海の中で.....

2010年12月24日02時59分発行